

また、新技術やICTを活用することにより、品質を確保しつつコスト縮減が出来るよう引き続き工夫をしていきたいとの説明を受けたものです。

なお、先日付替県道の一部開通や仮排水トンネルによる転流が開始されたとの報道があり、ダム本体工事の着工に向けて準備が進んでいますが、当委員会では引き続き事業の進捗について注視していくべきと考えています。

また、委員の知見を深めるため本年4月に実施した行政視察においては、高知県の犬伏町に現在建設中である春遠ダムの建設現場及びコンクリート製造プラントについて、また、高知県の日高村においては水害に強いまちづくり施策について、さらに、岡山県の倉敷市真備町では平成30年7月豪雨災害を受けて実施された緊急治水対策事業である高梁川・小田川の合流点付替事業について、それぞれ視察を行いました。このうち、高知県の日高村においては、長年水害に悩まされており、平成26年8月には大規模な内水被害が発生し、109戸の床上浸水を経験されました。これを受けて、特定都市河川に指定されている日下川流域を対象とした、「日高村水害に強いまちづくり条例」を制定し、浸水予想区域内における建築規制を行うとともに、新たに村内で3本目となる放水路である新日下川放水路の完成により、床上浸水家屋ゼロを目指しているとの説明を受けました。また、この新日下川放水路は、延長5キロメートル以上のトンネルになりますが、水の流れていない平常時は見学ツアーを実施しており、将来的にはカヌーやボートを使った探検ツアーの実施も検討されているなど、インフラツーリズムによる新たな観光資源としての期待も寄せられているとの説明を受けたものです。

このように、この4年間の任期において、肱川流域の治水事業の動向について、随時、関係資料等の提供を受け、各委員が見識を高めながら活動してきたわけですが、当委員会としては、肱川流域に暮らす全ての市民の安全・安心の確保を図るため、今後も引き続き調査・検討を行い、その実現に向けて国・県に対して要望を続けていくべきであると考えています。

以上、肱川流域治水対策特別委員会の今任期における報告といたします。

議 会 日 誌

《6月》

- 20日 大洲市企業誘致調査委員会
- // 日 大洲地区防犯協会通常総会
- 22日 第76回全国植樹祭1年前記念
「令和7年度愛媛県植樹祭」
- 26日 愛媛たいき農業協同組合通常総代会
- 27日 大洲市老人クラブ連合会定期総会
- // 日 大洲喜多特別養護老人ホーム事務組合
議会臨時会
- // 日 大洲地区広域消防事務組合議会臨時会
- 30日 市内中学校職場体験学習

《7月》

- 1日 議会運営委員会
- 2日 四国西南サミット(八幡浜市)
- 3日 福島県天栄村議会行政視察
- 7日 平成30年7月豪雨災害大洲市献花式
- 8～9日 大規模地震に備えた防災まちづくりの
推進に関する特別委員会(東京都)及び
現地調査(福島県)
- // 日 肱川流域総合整備推進協議会整備局要望
(高松市)
- 9日 大洲商店会連合会通常総会
- 10日 群馬県安中市議会行政視察
- 12日 大洲市青少年健全育成推進大会
- 14日 愛媛県四国縦貫・横断自動車道建設促進
協議会整備局要望(高松市)
- // 日 西日本高速道路株式会社四国支社要望
(高松市)
- 22日 議会運営委員会
- 24日 大洲まつり実行委員会・専門部会合同
会議

編集後記

令和7年10月2日から、議員18名体制での新たな議員任期が始まりました。議員定数を3名削減したうえでの活動となりますが、引き続き大洲市の発展のために尽力してまいりますので、今後もしばらくご支援・ご協力をお願いいたします。